

第43回富里スイカロードレース大会開催概要

主 催 : 富里スイカロードレース大会実行委員会
 共 催 : 富里市、富里市教育委員会
 後 援 : 富里市農業協同組合、富里市商工会、特定非営利活動法人富里市観光協会、
 読売新聞東京本社、富里市スポーツ推進委員協議会、富里市スポーツ協会
 特 別 協 賛 : 成田国際空港株式会社、ワールドハウス（郡建設株式会社）
 富里市農業協同組合西瓜部

1 開催日時 令和8年6月14日（日）雨天決行
 参加賞Tシャツ等引換 6:45～
 開 会 式 8:00
 競技開始 8:45～
 競技終了 11:30
 表 彰 式 順位確定後随時

2 会 場 富里市立富里中学校、富里市役所、富里社会体育館

3 種目及び受付定員

種 目	参 加 対 象 者	スタート時間	制限時間	受付定員
2 km	中学生男女	<u>8:45</u>	25分	400名
	小学生男女	<u>9:00</u>		
<u>10 km</u>	<u>一般・40歳以上 男女</u>	<u>9:15</u>	<u>70分</u>	<u>1,500名</u>
7 km	<u>一般・40歳代・ 50歳以上 男女</u>	10:00	90分	<u>5,100名</u>

4 参 加 料 ■小・中学生：2,000円 ■一般：6,500円

5 コ ー ス P14「第43回富里スイカロードレース大会コース図」

6 表 彰 順位確定後、随時表彰

表彰場所・時間	対象順位	賞 品
会場内ステージで表彰	1位～3位	メダル・スイカ1玉・賞品
賞品テントにて授与	4位～8位	スイカ1玉・賞品

7 申 込 方 法 ①インターネット ②ふるさと納税 ③個人協賛



8 申込期間

①インターネット

◆富里ファンクラブ枠 (700名)

令和8年1月7日(水)～2月13日(金)

◆メディカルアシストラナー

令和8年1月13日(火)～2月13日(金)

◆一般(6, 300名※先着順)

令和8年2月22日(日) 6:00～4月4日(土) 23:59

②ふるさと納税(①インターネットによる定員とは別枠で募集)

令和8年2月22日(日)～4月4日(土)

③個人協賛(①インターネットによる定員とは別枠で申込者全員を参加決定)

令和8年2月22日(日)～4月4日(土)

9 臨時バス

京成成田駅東口～中央公園駐車場：京成バス千葉イースト株式会社

往路6:30～8:00 復路11:30～13:20

■片道 大人：430円 小人：220円

10 直通バス

JR東京駅・横浜駅・大宮駅・千葉駅から会場直通バスを運行

申込受付と運営は旅行業者が実施、会場周辺の乗降所は事務局が準備

11 選手駐車場

1,905台 酒々井プレミアム・アウトレット、徒歩圏内駐車場

※酒々井プレミアム・アウトレット駐車場からはシャトルバスを運行

(料金：無料) 往路6:00～8:00 復路11:45～13:20

12 更衣所・手荷物置場

利用料は無料

◆男性 とみりーナ(富里社会体育館)2階アリーナ

◆女性 富里中学校体育館2階アリーナ

13 競技役員 約1,200名

スポーツ推進委員協議会、スポーツ協会、交通安全協会連合会、防犯指導員連合会、青少年相談員連絡協議会、ロータリークラブ、ボーイスカウト富里第1団、富里高校、日本郵便富里郵便局、学校体育施設開放利用団体、日本航空株式会社成田空港支店、株式会社JALグランドサービス東京成田支店などを予定

14 招待選手

株式会社ユニバーサルエンターテインメント

日本大学陸上競技部、順天堂大学陸上競技部、富里高校陸上競技部

15 ゲストラナー

山田 邦子さん(タレント)、

まかランさん(ランニングインフルエンサー)

16 メディカルアシストラナー

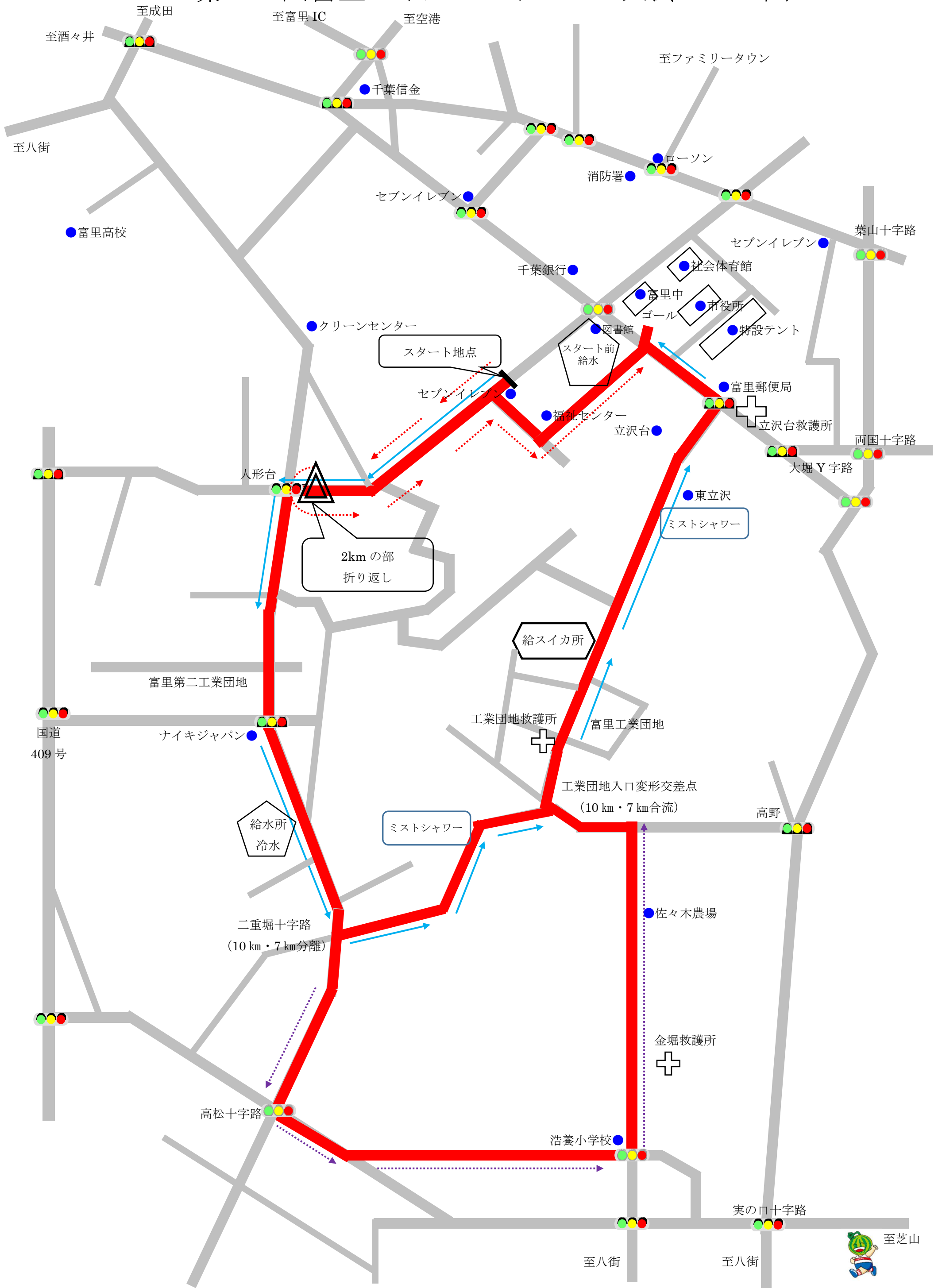
10km・10名、7km・25名、合計35名

17 参加賞

第43回大会オリジナルTシャツ(日本大学芸術学部がデザイン)



第43回富里スイカロードレース大会コース図



第43回富里スイカロードレース大会に向けた前回大会からの検討項目について

10 kmコース実施に伴う給水・役員配置について

（経過）

熱中症対策の一環として、第40回の救急搬送の状況から第41回・第42回は一般の部を7kmに短縮するなどし、大幅に救急搬送者を減少させることができているが、変更時からこれまでの10km実施を希望する声が届いており、何とか実施できないかの検討を進めてきた。

開催時期を6月第3日曜日から第2日曜日に早めることで、これまでより気温が低い条件で実施できるのではと考え、大会の目玉であるスイカの供給についても関係機関と協議した結果、実施は可能との判断に至った。

ただし、第40回大会の役員数から第41回以降は100名以上減少している状況から、給水所や場外観察に必要な人員が確保できず運営に支障が出るかもしれないといった懸念事項が上げられた。

（今後の対応策等）

給水については、他の大会で導入されているマイカップによるセルフ給水にすることで、以前の配置人員より大幅に少ない人員で対応可能であると判断した。

（給水ボトル等を提供いただける企業とも調整中。）

削減した人員をコース延長に伴う場外観察等に配置することで、以前ほどの役員数でなくても大会運営に支障はないと考えている。

また、熱中症のリスクを軽減するため、一般の部をすべて10kmに戻すのではなく、大会を楽しんでもらう人のために7kmと選択できる形で実施を検討している。なお、10kmにエントリーできる人数も、第40回の状況から60分以内に走り切れる人に限定することで、1,500名程度の参加になると見込んでいる。

残りの約5,000名は7kmにエントリーいただくことで、救急搬送者の増加につながらないように運営する。

（参考）マイボトル・マイカップによるセルフ給水を実施している大会

- ・湘南国際マラソン
- ・飛鳥ハーフマラソン
- ・札幌マラソン
- など



マイカップ参考資料



サイズ

10.5×6.5×4.5cm

200ml

シリコン素材

※イメージです。